



【案内】令和3年度 第3回 DX セミナー開催

第3回 DXセミナー「自治体や企業は、なぜDXが必要なのか」を開催いたします。アフターコロナや人口減少が叫ばれる中で10年後、50年後の未来を描くために、自治体や企業が持続するために必要なこととは？ 西会津町最高デジタル責任者としてデジタル技術を活用した会津地域全体の活性化のために尽力されている藤井靖史様が、各地の事例のほかデジタル通貨についてわかりやすくご紹介いたします。

お申し込みは当協議会HPまたはQRコードから。
日時:令和3年12月15日(水) 14:00~16:00
会場:オンライン(Zoom)



第2回 DXセミナー 開催報告

第2回 DXセミナーが11月17日(水)オンラインで開催され27名が参加。福島コンピューターシステム(株)陰山真由美氏よりWeb会議システムの機能比較、無料版と有料版との違い、特徴などを踏まえた活用方法について、同じく安齋未来氏より同社で日常的に行っているテレワークについて導入経緯や実際の効果など社員の生の声などをわかりやすく講演しました。また講演後は佐藤貴幸氏、壁谷幸氏を交えたトークセッションを行いました。

参加者からは「Web会議ツールの違いを学べて理解できた。」「それぞれの特性がよく理解できた。」「実際にテレワークを行われた方だからこそその説得力が感じられた。」などの感想がありました。

RPA セミナー in 郡山 開催報告

RPAセミナー2021 in 郡山が10月27日(水)オンラインで開催され、22名が参加しました。

(一社)日本RPA協会竹内瑞樹氏より「RPAの本質と現状について」、(株)ソフトバンク林正導氏より「RPAを活用した業務効率化」、福島コンピューターシステム(株)五十嵐 愛里氏より「RPA導入事例紹介」、(株)FCEプロセス&テクノロジー梶原淳司氏より「RPAでできること、できないこと」など講演しました。

参加者からは「実際導入している企業の話はとても参考になった」「RPAの出来る出来ないが詳しくわかった」「社内での実例などわかりやすかった」などの感想がありました。



メディカルクリエイションふくしま 2021 開催報告

10月28日(木)、29日(金)に、第17回目となる『メディカルクリエイションふくしま2021』が、参加企業139企業・団体のWeb出展、参加者総数2,685名の参加で開催されました。Web展示開催は、来年2月10日まで引き続き行われ、毎月イベントも企画されます。

新技術セミナー『手術支援ロボット戦国時代。市場群雄と今後開発動向。』や人材育成セミナー『医療機器産業への参入はどれほど大変なのか?』などが、好評でした。



第4回 川崎カンファレンス 開催報告

当機構圏域内の企業と川崎市内、さらに沖縄県内の企業マッチングを目的として、オンラインによる企業交流カンファレンスを開催しました。今回は再生可能エネルギー分野をテーマに、当地域からはインキュベーションセンターに入居している株式会社アスター様が登壇。独自開発したASTコイルを紹介しました。今後も地域をまたいだ技術シーズや製品開発のマッチングを支援していきます。



第9回健康医療福祉産業創成フォーラム 開催報告

11月5日(金)に、日本大学工学部 次世代工学技術研究センター及びWEBのハイブリッド方式により、「第9回健康医療福祉産業創成フォーラム」を開催しました。

第一部は日本医工ものづくりコモンズ谷下一夫理事長より、医学と臨床工学が相互にコアメンバーとして進めることや価値観共有の重要性について講演されました。

また第二部では、日本大学工学部の片岡則之教授をコーディネーターに、谷下一夫理事長に加えて、総合南東北病院臨床工学科技士長の安藤啓子先生、ふくしま医療機器開発支援センターの小林利彰センター長をパネリストとして、「医療機器分野への参入を考える企業が考えるべきこと」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

会場及びWEB参加者相互からも多くの質問が寄せられ、各立場からの意見や提案がなされました。



パネルディスカッション

第8回サステナブル地域づくりフォーラム 開催報告

11月8日(月)、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議が主催、日本大学工学部が共催で「第8回サステナブル地域づくりフォーラム」が、日本大学工学部次世代工学技術研究センターを会場に行われました。

今回のフォーラムは、Zoomと併用したハイブリッド方式で行われ「健全で持続可能な地域づくり」をテーマに約40人が受講しました。

フォーラムでは、コーディネーターである日本大学工学部の中野先生、浦部先生、中村先生、前島先生の4名の先生方から「福島イノベーション・コースト構想」におけるこれまでの成果と今後の展開について情報提供いただきました。

参加者は、日本大学工学部が大きく関わる「福島イノベーション・コースト構想」に理解を深めることができ、充実したフォーラムとなりました。



中野先生による講演

サイエンスツアー 開催報告

郡山市高齢者学級「あさかの学園大学」専門課程1年生を対象にした「サイエンスツアー」が、下記の通り開催されました。毎年、日本大学工学部の教授陣の協力のもと、研究分野の最新情報をご披露頂いております。第2講座では、当機構が管理運営する「ものづくりインキュベーションセンター」の概要について、吉田裕二インキュベーションマネージャーが説明しました。

会場は、いずれも日本大学工学部の講義室で行われ、参加された皆さんは熱心に研修していました。

○開催期日:10月29日(金)芸術・文化学科45名

11月17日(水)健康・福祉学科45名

11月25日(木)郷土・生活学科50名

○講師:片岡則之氏 機械工学科教授(工学博士・医学博士)
和泉勇治氏 情報工学科准教授(工学博士(情報工学))
宮崎 渉氏 建築学科専任講師(工学博士(建築学))



Technological Column(今月のコラム) ~新技術情報などを毎月紹介します~



技術コーディネーター
二瓶 学

今回は、今までの中で印象に残ったことを書きたいと思います。

産学官連携の中で、補助金等を活用し、新しい技術を駆使して新製品を開発する事業でした。新しい技術は未だに確立されたものではなく、かなり難しいものでしたが、当方の開発担当者は大学の先生及び学識経験者から指導を受けながら進めて行きましたが、中々ものになりませんでした。そのような中で、中間発表の場が設けられ発表を致しましたが、課題も解決されないままの発表でしたので、聴いている方々も不満に思っている方もいたと思います。その時に、「その装置が世に望まれているのであれば、もっと明解で理論上確立されたもので進めたらどうか。」とアドバイスされた方がいました。私たちは、この製品を作るにはこの方法しかないと思っていたのです。いろいろな事業を進めて行く中で、異業種や、専門外の方々のアドバイスは、大事ななあと思いました。私もこの様なアドバイスができるように頑張っていきます。

